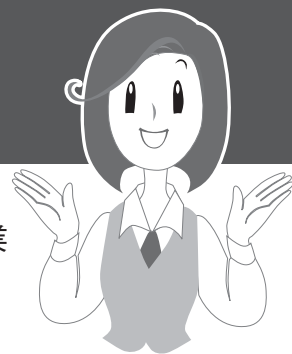


水道事業業務状況公表



3月31日現在のいの町水道事業の概要、経理状況及び平成22年度予算・事業概要を地方公営企業法に基づいて、次のとおり公表します。

Ⅱ平成21年度事業の概要Ⅱ

事業営業では、21年度未給水件数8,152件で前年度より18件の減となり、水量面では、総配水量371万2,888m³に対し、総有収水量286万4,875m³で前年度より9万5,488m³(前年度比0.3%)の減となりました。経理に關しては、水道事業収益総額2億8,220万9千円で、その主な収益として、給水収益2億6,553万5千円、受取利息及び配当金98万1千円、新設分担金386万円、他会計補助金1,004万3千円に対し、水道事業費用総額は、2億7,115万8千円で、その主な費用として、人件費5,558万5千円、支払利息3,491万5千円、動力費2,495万9千円、減価償却費9,383万7千円、修繕費3,156万2千円、委託料1,211万2千円で、単年度収支は、1,105万円の純利益となりました。

Ⅱ主な建設改良Ⅱ

水道事業会計では、平成21年度において、水道法の目的に沿って清浄、豊富な水の安定

供給を図るために、上水道新水源地球移転事業等、3億1,526万円余りの事業を行いました。主な工事箇所の詳細は次のとおりです。

【配水管布設替工事等】

- 天神地区大口径配水管布設替工事(平成20年度分)
 - 送水管 φ350×400
 - 延長 351・16m
 - 配水管 φ400×450
 - 延長 400・52m
 - 不断水連絡工 1基
 - ストッパー弁 1基
- 町道ウネ沢線配水管布設替工事
 - 配水管 φ75
 - 延長 52・9m
 - 仕切弁 φ75 1基
- 町道諸枝是友線配水管布設替工事
 - 配水管 φ50×75
 - 延長 69・18m
 - 消火栓 φ75 1基
- 不断水仕切弁取付工事(枝川地区)
 - 仕切弁 φ150 2基
- 町道灘線・近見線道路改良工事に伴う配水管移設工事
 - 配水管 φ150
 - 延長 14・6m
 - ストッパー弁 2基
- 駅前地区老朽管耐震化布設替工事
 - 配水管 φ75
 - 延長 46・2m
 - 消火栓 1基
- 駅南地区老朽管耐震化布設

替工事(その1)
 配水管 φ75×100
 延長 142・7m
 消火栓 φ75 1基
 空気弁 φ25 1基

○駅前地区老朽管耐震化布設替工事(その2)

配水管 φ75×200
 延長 157・8m

○町道ケナシ2号線配水管布設替工事

配水管 φ75
 延長 139・9m

○北山No.1取水ポンプ取替工事

口径 150mm
 排出量 2.5m³/分
 全揚程 95m
 出力 65kw

○上水道新源地取水井ボーリング工事

掘削 φ650
 延長 65・1m
 砂利充填工 30・0m
 遮水工 15・30m

○上水道新源地第1無水撃弁設置工事

配水管 φ75×350
 延長 34・2m

○無水撃弁

φ350 1基

○上水道新源地電気設備設置工事

取水ポンプにかかる電気計装機器 1式
 非常用発電設備 250kVA 1式
 減菌設備 1式

Ⅱ企業債の概要Ⅱ

平成21年3月末未償還残高

は1,218,509,195円でしたが、公営企業債として、34,200,000円を借り入れ、3月までに、62,244,974円を償還しましたので、平成22年3月末未償還残高は、1,190,464,221円となりました。

Ⅱ平成21年度経理の状況Ⅱ

経営状況は、事業概要で示したように当年度純利益1,105万円が計上され、資本的収支の不足額2億9,821万8千円は、減債積立金3,000万円、建設改良積立金1億4,000万円、過年度分損益勘定留保資金9,216万7千円、当年度損益勘定留保資金3,605万1千円で補てんしました。

平成22年度予算の概要・事業経営方法

【予定業務量】

給水戸数 8,134戸
 一日平均給水量 7,875m³

主たる建設改良事業

2億9,854万2千円
 収益的収支・資本的収支の予算概要(別表1)

平成23年3月31日予定貸借対照表(別表2)

記号説明

φⅡ管の内径、単位mm